

検査機関認定のための
ISO/IEC 17020:2012の適用

JAB RI300:2015

第2版：2015年9月1日
制定日：2005年3月28日

公益財団法人日本適合性認定協会

ISO/IEC 17020 ガイダンス（一般）

本指針は、国際規格 ISO/IEC 17020: 2012（JIS Q 17020 がこれと一致している。）の適用指針として ILAC²⁾ が作成した「ILAC P15:06/2014 Application of ISO/IEC 17020:2012 for the Accreditation of Inspection Bodies」を変更することなく採用したものである。

本指針の正式日本語版が存在しないため、本協会の検査機関技術委員会が翻訳した本指針を認定の指針とする。

なお、翻訳について疑義が生じた場合は、原文（英文）に戻って、その解消を図るものとする。

目 次

1. 序文	4
2. 著作権	4
3. 実施 (IMPLEMENTATION)	4
4. 用語	4
5. ISO/IEC 17020:2012 の適用	5
用語及び定義	5
一般要求事項 公平性及び独立性	5
組織運営機構に関する要求事項 — 管理上の要求事項	5
組織運営機構に関する要求事項 組織及び管理	6
資源に関する要求事項 要員	7
資源に関する要求事項 施設及び設備	9
資源に関する要求事項 外部委託	11
プロセス要求事項 検査方法及び検査手順	11
プロセス要求事項 検査の記録	12
プロセス要求事項 検査報告書及び検査証明書	12
マネジメントシステム要求事項 選択肢	12
マネジメントシステム要求事項 マネジメントシステム文書 (選択肢 A)	13
マネジメントシステム要求事項 記録の管理 (選択肢 A)	13
マネジメントシステム要求事項 マネジメントレビュー (選択肢 A)	13
マネジメントシステム要求事項 内部監査 (選択肢 A)	14
マネジメントシステム要求事項 予防処置 (選択肢 A)	14
附属書 A (規定) 検査機関の独立性に関する要求事項	14
6. 引用文献	15

1. 序文

この文書は、検査機関の認定のために、ISO/IEC 17020:2012「適合性評価—検査を実施する各種機関の運営に関する要求事項」の適用のための参考情報である。これは、検査機関を認定審査する認定機関及び認定要求事項を満足するようなやり方で運営を管理しようと努める検査機関によって利用されることを意図している。

参照を容易にするため、それぞれの適用ノートは、ISO/IEC 17020:2012 の項目番号及び適切な接尾辞で識別されている（例えば 4.1.4a が規格の 4.1.4 項の要求事項の最初の適用ノートとなっている）。

“shall”という用語は、この文書全体を通して ISO/IEC 17020 の要求事項、又はいくつかの場合においては ISO/IEC 17011 に規定されている認定機関の運営に関する要求事項を反映するために用いられ、それらの条項が強制的であることを表している。

”should”という用語は、この文書全体を通して要求事項を満たすための認知された手段として ILAC が規定した条項で用いられ、それらの条項が強制的でないことを表している。

“may”という用語は、許容される何かを示すために用いられる。

“can”という用語は、可能性または能力を示すために用いられる。

この ILAC 文書の”should”指針に従っていない検査機関は、その機関による解決策が ISO/IEC 17020:2012 の該当する条項を満たすことにおいて同等以上であることを認定機関に対して実証できる場合にのみ、認定を受ける資格をもつであろう。

個々の検査スキームは認定のための追加の要件事項を指定することもある。

この文書は、そのような追加要件はなにであるか又はそれらをどのように実施するかを特定しようとするものではない。

ISO/IEC 17020:2012 及びこの適用文書を用いる場合には、認定機関は規格要求事項に追加または一部削除しないことが望ましい。

しかしながら、その場合にも認定機関は ISO/IEC 17011 の要件を満たしていなければならないことに注意すること。

2. 著作権

本文書は、ILAC 検査委員会（IC）によって作成され 2014 年の ILAC メンバーシップ投票で可決され、発行が承認されたものである。

3. 実施（Implementation）

ILAC A2 2.1.1 項の規定に適合するため、ILAC MRA 署名認定機関は本文書を発行日より 18 か月以内に実施しなければならない。

4. 用語

本文書の目的のため、ISO/IEC 17000 及び ISO/IEC 17020 の用語及び定義を適用する。

5 . ISO/IEC 17020:2012 の適用

用語及び定義

3.1a 「据付け」という用語は「別々では達成できない目標を合同して達成するために組み立てられた部品の集まり」と定義してもよい。

一般要求事項 公平性及び独立性

4.1.3a 検査機関の公平性へのリスクは、検査機関又はその要員の公平性に影響し得る出来事が起きた場合に、いつでも考慮しなければならない。

4.1.3b 検査機関は、該当する範囲でその公平性に影響を及ぼし得る、何らかの関係について、組織図やその他の方法で記述することが望ましい。
公平性に影響を与え得る関係は次の例を含む。

- 親組織
- 同一組織内の他の部署
- 関連会社又は関連組織
- 規制当局
- 顧客
- 要員
- 検査対象である品目の設計、製造、供給、据付け、購入、所有、使用又は整備を行う組織

4.1.5a 検査機関は、利害の衝突を管理し検査活動の客観性を確保しながら行うその検査活動について、公平性を約束することを強調する文書化された声明を持つことが望ましい。

トップマネジメントが発する活動はこの声明と矛盾しないことが望ましい。

4.1.5b トップマネジメントが公平性の約束を強調するための一つの方法は、関連する声明と方針を公表することである。

組織運営機構に関する要求事項 管理上の要求事項

5.1.3a 検査機関は、一般的な分野及び検査の範囲(例えば製品、プロセス、サービス又は据付けのカテゴリ/サブカテゴリ)、検査の段階(規格の第1項注記参照)及び該当する場合、検査の実施において従うべき要求事項を含む法令、規格又は仕様を定義することによって、自身の活動を記述することが望ましい。

5.1.4a 財務上の準備のレベルは、検査機関の事業から生じる債務のレベルと性質に見合ったものであることが望ましい。

組織運営機構に関する要求事項 組織及び管理

5.2.2a 検査機関の規模、構造、配置及びマネジメントは総合して検査機関が認定範囲で行う検査の適切な遂行に相応しいものでなければならない。

5.2.2b 「検査活動を実施する能力を維持できるように」とは、検査機関がその活動に関し適用される技術上及び/又は法律上の動きについて常に適切に情報が得られるよう処置を講じなければならないことを意味する。

5.2.2c 検査機関は、頻繁には行わない(通常間隔が1年以上)検査活動を実施するための実現能力(capability)及び力量(competence)を維持しなければならない。

検査機関は、その頻繁には行わない検査活動の実現能力と力量を「ダミー検査」及び/又は類似の製品に対して行う検査活動を通じて実証してもよい。

5.2.3a 検査機関は、検査機関内の職員のための職務と権限範囲(lines of authority)を示す現在有効な組織図又は文書を維持しなければならない。

技術管理者及び8.2.3項で言及されている経営層のメンバーのポジションは、組織図又は文書において明確にすることが望ましい。

5.2.4a 検査機関と他の部門の両方のために職務を遂行する要員について、情報を用意することが適切な場合がある。

5.2.5a 「利用できる」と判断するためには、要員は雇用されるか又は他の方法で契約されるのが望ましい。

5.2.5b 検査活動がISO/IEC 17020:2012に従って実施されることを確実にするため、技術管理者及びその代理者は、検査活動の実施に関係するすべての重要事項を理解するために必要な技術的力量(technical competence)を持たなければならない。

5.2.6a 組織内において基幹要員の不在が作業の停止を引き起こす場合、代理者を置くという要求事項は適用されない。

5.2.7a 検査活動に関与する役職のカテゴリは、検査要員、及び検査の管理、実施、記録又は報告に影響し得るその他の役職である。

5.2.7b 職務規定書又はその他の文書は、5.2.7aでいう義務、それぞれの役職の責任及び権限を詳述しなければならない。

資源に関する要求事項 要員

- 6.1.1a 適切な場合、検査機関は、5.1.3a でいうそれぞれの検査活動のための力量要求事項を定義し文書化しなければならない。
- 6.1.1b 「検査活動に関与する要員」については、5.2.7a 項を参照のこと。
- 6.1.1c 力量要求事項は、検査機関のマネジメントシステムの知識及び実施する活動に適用される管理上及び技術的手順を実施する能力を含むことが望ましい。
- 6.1.1d 専門的判断が適合を確定するために必要な場合、このことは力量要求事項を定義する際に考慮しなければならない。
- 6.1.2a ISO/IEC 17020:2012 の全ての要求事項は、雇用された要員及び契約要員に同等に適用される。
- 6.1.5a 検査員を正式に権威づける手順は、関連する詳細が文書化されることが望ましい。
(例えば、権威づけされた検査活動、権威づけの開始、権威づけを行った要員の識別、及び適切な場合、権威づけの満了期日)
- 6.1.6a 6.1.6 b)項で言及される「指導下で業務を行う期間」は、通常、検査が行われる活動を含む。
- 6.1.7a それぞれの要員に対する教育訓練ニーズの識別は、一定の間隔で実施されることが望ましい。
その間隔は、6.1.6 c)項を満たすことを確実にするために選定されることが望ましい。
例えば、更なる教育訓練の計画またはこれ以上の教育が必要ないというステートメントといった教育訓練のレビューの結果は、文書化することが望ましい。
- 6.1.8a 監視要求事項の主要な目的の一つは、一般的基準に対する専門的判断をも含む検査結果の一貫性及び信頼性を確保するためのツールを検査機関に提供することである。
監視は、個々の教育訓練ニーズの識別又は検査機関のマネジメントシステムの見直しのニーズに帰結することがある。
- 6.1.8b 「検査活動に関与するその他の要員」については、5.2.7 a を参照のこと。

6.1.9a 十分と認められるために、検査員が力量を持って継続的に実施している証拠を次のような情報の組み合わせによって実証することが望ましい。

- 試験及び確定の満足な実績
- 報告書のレビュー、面談、検査のシミュレーション及びその他の実績審査（6.1.8項の注記参照）の明確な結果
- 検査の成果を検証するための、別に評価された良好な結果（これは、例えば建築設計書の検査などの場合に可能であり適切である）
- 導入教育及び教育訓練の良好な結果
- 理にかなった異議申し立てや苦情がないこと
- 例えば、要員認証機関などの適切な機関による立会の満足な結果

6.1.9b 検査員の現地での観察のための効果的なプログラムは、5.2.2項から6.1.3項の要求事項を満たすために貢献できる。

そのプログラムは、次を考慮して設計することが望ましい。

- 検査のリスク及び複雑さ
- 前回の監視活動の結果
- 検査に関係する技術上、手順上又は法律上の動き

現地での観察の頻度は上述の項目に依存するが、認定の再審査サイクル中に少なくとも1回以上であることが望ましい。ただし、6.1.9aの注記を参照のこと。

もしリスク又は複雑さのレベル、又は前回の観察の結果が示唆し、或いは技術上、手順上又は法律上の変更がある場合、より頻繁な観察が考慮することが望ましい。

要員の資格付けでカバーされる検査の分野、タイプ及び範囲に応じて、要求される力量の範囲全体を適切にカバーするために必要であれば、検査員ごとに2回以上の観察を行ってもよい。

更に、継続して満足な実績を残しているという証拠がなければ、更に頻繁な現地観察が必要かもしれない。

6.1.9c 検査機関が技術的に力量のある要員が一人のみの検査分野では、内部の現地観察は実施できない。

そのような場合には、検査員が継続して力量を持って実施している十分な証拠がない限り外部要員による現地観察を適切にアレンジしなければならない（6.1.9a項参照）。

6.1.10a 資格付けの記録は資格が付与される基準（例：検査の現地観察）を規定することが望ましい。

6.1.11a 検査を迅速に実施することにインセンティブを与える報酬の方式は、検査業務

の品質や結果に悪影響を与える潜在性を含んでいる。

6.1.12a 方針及び手順は、検査機関の要員が、彼らの公平性に影響し得る検査機関の内部又は外部に起こる商業上、財政上もしくはその他の脅威又は動機を識別し、対処する際に検査機関の助けとなることが望ましい。

そのような手順は、検査機関の要員によって確認された利害の抵触がどのように報告され記録されるかについて触れることが望ましい。

しかしながら、検査員の誠実性に対する期待が方針及び手順で知らされたとしても、そのような文書の存在はこの項で要求される高潔性及び公平性の存在の証拠とならないかもしれないことに注意する。

資源に関する要求事項 施設及び設備

6.2.1a 検査を安全に実施するために要求される設備は、例えば要員保護装置や足場などを含む。

6.2.3a もし、例えば検査の正しい実施のためなどに、管理された環境条件が必要な場合、検査機関はそれらをモニターし結果を記録しなければならない。

もし、条件が検査実施のための許容限界を外れていた場合には、検査機関はどのような処置が取られたかを記録しなければならない。8.7.4 項も参照のこと。

6.2.3b 継続して適切であることは、目視検査、機能チェック及び/又は再校正で証明される。

この要求事項は、特に検査機関の直接的な管理の及ばない設備に重要である。

6.2.4a 設備品目が交換された場合の追跡を可能とするために、利用可能な品目が唯一の場合においても、個々の品目に固有の識別を行うことは適切であろう。

6.2.4b 管理された環境条件が必要な場合、そのような条件を監視する設備は検査の結果に重大な影響を与える設備と考えることが望ましい。

6.2.4c 適切な場合(通常、6.2.6 項でカバーされる設備について)、定義には要求される精度及び測定範囲を含まなければならない。

6.2.6a 検査の結果に重大な影響を与える設備(6.2.4 項参照)の校正しない理由は記録されることが望ましい。

6.2.6b どのように校正の頻度を決定するかに関するガイドラインは、ILAC G24 に記載されている。

6.2.7a ILAC P10 によると、測定のために使用される設備の内部校正を行うことが可能である。

そのような内部校正サービスが ISO/IEC 17025 の計量トレーサビリティに関係する基準に従って実施されることを確実にするための方針を持つことは、認定機関に対する要求事項である。

JAB では、内部校正に対しては、JAB RL331 の 6.2 項で規定している。

6.2.7b ILAC P10 によると、設備の校正のための外部サービスを探す適合性評価機関のための好ましいルートは ILAC P10 の第 2 節の 1) 及び 2) に規定されている。

しかしながら、もし正当な理由のために上記の二つのルートに適合することが不可能な場合、ILAC P10 第 2 節のルート 3a) 又は 3b) を採ることは容認される。

そのような外部校正サービスが ISO/IEC 17025 の計量トレーサビリティ関連要求事項を満たすことを確実にするための方針を持つことは認定機関に対する要求事項である。

ILAC P10 第 2 節のルート 3a) は JAB RL331 の 6.1.1 項 e) が、3b) は同項 d) が該当する。

6.2.7c 国家計量標準又は国際計量標準へのトレーサビリティが該当しない場合、関係する比較プログラム又は技能試験に参加することは、検査結果の外部との関連付け又は正確さの証拠を入手する一例となる。

6.2.8a 検査機関が測定の参照標準を常用の装置の校正に使用する場合、測定の参照標準は校正に使用される常用の装置に要求される精度より高い程度の精度を持つことが望ましい。

6.2.9a 設備が通常の再校正の間の稼働中チェックに供される場合、そのようなチェックの性質、頻度及び許容基準は定義されることが望ましい。

6.2.10a 6.2.7a、6.2.7b 及び 6.2.7c に規定される設備の校正のための情報は、標準物質の校正プログラムにも有効である。

6.2.11a 検査機関が、例えば注文登録、記録作成、検査中の補助サービスの提供、検査レポートの編集又は校正サービスなど、検査の一部の実施に含まれていないが検査の結果に関係するような供給者の活動に関与する場合、そのような活動はこの項でいう「サービス」という用語でカバーされる。

6.2.11b 検証手順は入ってくる製品及びサービスが仕様への適合性が検証されるまで使用されないことを確実にすることが望ましい。

6.2.13a データの完全性とセキュリティを保護する際に、次の要因を考慮に入れることが望まし

い。:

- バックアップの実施及び頻度
- バックアップから回復するデータの有効性
- ウィルスからの保護
- パスワードの保護

資源に関する要求事項 外部委託

6.3.1a 検査活動は、それらの活動が共通の特性を持つ場合において試験活動及び認証活動と重なることがある（ISO/IEC 17020:2012 序文参照）。

例えば、同一の製品に対する調査及び試験は、両方とも検査プロセスにおける適合性の確定のための基礎となり得る。ISO/IEC 17020:2012 は、検査を実施する機関に対する要求事項を定め、ISO/IEC 17025 及び ISO 15189 は試験を実施する機関に対する規格であることを認識することが望ましい。

6.3.1b 定義（ISO/IEC 17011 3.1 項）により、認定は検査機関が推進する力量を実証した適合性評価活動に限定される。

したがって、認定は、注記 1 の 4 番目の項に示されている活動に対しては、検査機関が要求される力量及び/又は資源を持っていなければ与えられない。

しかしながら、そのような活動の結果を適合性の確定のために評価し解釈することは、十分な力量が実証されていれば認定の対象となり得る。

6.3.3a 3.1 項の「検査」の定義の注記 2 には、幾つかのケースにおいて検査が調査のみで成立し、その後の適合性の確定は行われなことが表明されている。

そのようなケースでは、6.3.3 項は適合性の確定が行われないので適用しない。

6.3.4a もし、外部委託先の力量の評価が認定の一部又は全部に基づいているなら、検査機関は外部委託先の認定のスコープが下請けされる活動をカバーしていることを確実にしなければならない。

プロセス要求事項 検査方法及び検査手順

7.1.5a 適切な場合、契約又は業務依頼管理システムは次を確実にすることが望ましい。

- 契約条件が合意されている
- 要員の力量が十分である
- 法令要求事項が特定されている
- 安全要求事項が特定されている
- 要求される外部委託の取決めの範囲が特定されている

日常又は繰り返し行う業務発注に対してのレビューは、時間及び人的資源の考慮だけに限定されることがある。

そのような場合に受け入れられる記録は、適切に資格付けされた要員によって署名された契約書の受入れとなる。

7.1.5b 口頭の業務発注が受け入れ可能な状況では、検査機関は口頭で受領した依頼及び指示の記録を維持しなければならない。

適切な場合、関連する日付及び依頼者の代表の証明を記録することが望ましい。

7.1.5c 契約又は業務発注書は、検査機関と検査機関が行う検査業務の範囲の依頼者との間に、明確かつ実証できる理解があることを確実にすることが望ましい。

7.1.6a この項でいう情報は外部委託先から提供される情報ではなく、規制当局又は検査機関の顧客といったその他の団体からもたらされる情報である。

情報は検査活動のための背景情報を含むかもしれないが、検査活動の結果ではない。

プロセス要求事項 検査の記録

7.3.1a 記録には、検査の結果に重大な影響を及ぼす特定の設備のどの品目が各検査活動に使用したかを示すことが望ましい。

プロセス要求事項 検査報告書及び検査証明書

7.4.2a ILAC P8 は、認定機関が認定シンボルを報告書及び証明書に使う規則を定めることを要求している。

承認された報告書及び証明書、つまり、認定に参照した報告書及び証明書は、検査機関としての免責条項含め要求することを、そのような規則に含めなければならない。

- 報告書及び証明書にリストされたサービス/試験が認定されていない場合（8.1 項の全文を参照のこと）
- 報告書及び証明書が認定を受けていない外部委託契約者の結果を含む又はそれに基づいている場合（9.3 項の全文参照）

7.4.4a 検査方法を検査報告書/検査証明書の中で特定することは、この情報が検査結果の適切な解釈を支援する際に有効であるかもしれない。

マネジメントシステム要求事項 選択肢

8.1.3a もし、検査機関が選択肢 B への適合の承認を要求するならば、検査機関は自身が ISO 9001 に適合するマネジメントシステムを確立しており、そのマネジメントシステムが ISO/IEC 17020 の要求事項を一貫して満足することを支援する能力があることを実証する必要がある。

認定機関は、検査機関の主張を検証しなければならないが、ISO 9001 のマネジメントシステムについて審査（又は監査）は行わない。

要求される検証の範囲は提供された証拠に依存する。

もし、マネジメントシステムが認定された認証機関により認証されるならば、認定機関は 8.1.3 項への適合の検証は必要であるが、規格の 8.2 項から 8.8 項までに対する詳細な審査は行わない。もし、検証の結果が不適合の特定に至ったならば、それらは 8.1.3 項への不適合として報告されることが望ましい。

8.1.3b 検査以外の活動を含む法人（entity）に対して ISO 9001 のマネジメントシステムが確立されている場合、そのマネジメントシステムは常に検査機関の活動を適切にカバーしていなければならない。

8.1.3c 選択肢 B は検査機関のマネジメントシステムが ISO 9001 について認証されることを要求していない。

しかし、要求される審査の範囲を決定するには、認定機関は検査機関のマネジメントシステムの認証について、IAF MLA 又は地域 MLA の署名認定機関によって認定された認証機関によって ISO 9001 認証がなされているかどうかを考慮することが望ましい。

マネジメントシステム要求事項 マネジメントシステム文書（選択肢 A）

8.2.4a 照合を容易にするため、検査機関は、例えば比較対象表などによって ISO/IEC 17020:2012 の要求事項が対処されていることを示すことが推奨される。

マネジメントシステム要求事項 記録の管理（選択肢 A）

8.4.1a この要求事項は、規格の要求事項を満たしていることを証明するために必要な全ての記録が確立され維持されていなければならないことを意味する。

8.4.1b 電子的手段による印章又は証明が承認のために使用されている場合には、電子媒体又は印章へのアクセスがセキュリティ保護され管理されていることが望ましい。

マネジメントシステム要求事項 マネジメントレビュー（選択肢 A）

8.5.1a 公平性へのリスクを特定するプロセス及びその結論のレビュー（4.1.3 項/4.1.4 項）は、毎年のマネジメントレビューの一部であることが望ましい。

8.5.1b マネジメントレビューは、現状の人的及び設備上の資源、計画された業務負担及び新入社員及び既存のスタッフの両方に対する教育訓練の必要性に関する情報を考慮しなければならない。

8.5.1c マネジメントレビューは、要員の十分な力量を確保するために確立されたシステムの有効性のレビューを包含することが望ましい。

マネジメントシステム要求事項 内部監査（選択肢 A）

8.6.4a 検査機関は認定の再審査までのサイクルの中で内部監査プログラムが ISO/IEC 17020:2012 の全ての要求事項をカバーしていることを確実にしなければならない。

カバーされる要求事項はすべての分野の検査及び主要な活動が行われる全ての事業所（premises）について考慮しなければならない（IAF/ILAC A5 参照）。

検査機関は、異なるタイプの要求事項、検査の分野及び主要な活動が行われる事業所に対する監査頻度について選択の根拠を示さなければならない。

根拠の提示はつぎのような考慮に基づくかもしれない。

- 重大性
- 熟練度
- 前回の成績
- 組織変更
- 手順の変更
- 異なる運営場所間及び異なる運営の分野間での経験の移転のためのシステムの有効性

8.6.5a 外部の力量のある契約要員が内部監査を行ってもよい。

マネジメントシステム要求事項 予防処置（選択肢 A）

8.8.1a 予防処置は、不適合の特定、問題又は苦情に対する処置（reaction）というよりも、潜在的な不適合や改善機会を特定するための予防活動的プロセスとして実施される。

附属書 A（規定）検査機関の独立性に関する要求事項

A.1. 検査機関（タイプ A）に対する要求事項

Aa ISO/IEC 17020 の附属書 A.1 及び A.2 は、タイプ A 及びタイプ B 検査機関に対する検査品目に言及している。

附属書 A.1 では、「特に、彼らは検査品目の設計、製造、供給、据付け、購入、所有、使用及び整備に従事してはならない」ことが規定されている。

附属書 A.2 では、「特に、彼らは検査品目の設計、製造、供給、据付け、使用又は整備に従事してはならない」ことが規定されている。

ここでいう「彼ら」は、当該検査機関及びその要員のことである。

この場合の品目は、検査機関の認定範囲に関する認定機関の認定証/附属書に規定されている品目である（例：圧力容器）。

Ab 項目 d) では、検査品目の設計、製造、供給、据付け、購入、所有、使用、又は整備に従事する別の法人との関係に言及されている。

そのような関係は、共同所有者及び組織の役員会又は同等の場で共同所有者から指名された者を含む。

もし、関与する要員が検査の結果に影響する可能性がないのであれば、そのような関係は容認可能である。

特に、要員が次のいずれかの能力を有していれば検査の結果に影響を与える可能性がある。

- 特定の指名または顧客のための検査要員の選定に影響を及ぼす、又は
- 指定された特定の検査の適合性に関する確定に影響を及ぼす、又は
- 個々の検査員への報酬に影響を及ぼす、又は
- 特定の任務又は顧客に対する報酬に影響を及ぼす、又は
- 特定の任務について、替わりの業務実施方法の使用を開始する。

6. 引用文献

- 6.1 ISO/IEC 17000 Conformity assessment – Vocabulary and general principles.
- 6.2 ISO/IEC 17011 Conformity assessment – General requirements for accreditation bodies accrediting conformity assessment bodies.
- 6.3 ISO/IEC 17020 Conformity assessment – Requirements for the operation of various types of bodies performing inspection.
- 6.4 ISO/IEC 17025 General requirements for the competence of testing and calibration laboratories.
- 6.5 ISO 15189 Medical laboratories – Requirements for quality and competence.
- 6.6 ISO 9001 Quality management systems – Requirements
- 6.7 ILAC A2 IAF/ILAC Multi-lateral mutual recognition arrangements (Arrangements): Requirements and procedures for evaluation of a single accreditation body
- 6.8 IAF/ILAC A5 IAF/ILAC Multi-lateral mutual recognition arrangements (Arrangements): Application of ISO/IEC 17011:2004
- 6.9 ILAC P8 ILAC Mutual recognition arrangement (Arrangement): Supplementary requirements and guidelines for the use of accreditation

symbols and for claims of accreditation status by accredited laboratories and inspection bodies

6.10 ILAC P10 ILAC policy on traceability of measurement results

6.11 ILAC G24 Guidelines for the determination of calibration intervals of measuring instruments

様式番号 JAB NF18 REV.0

改 定 履 歴 (公 開 文 書 用)

版 番号	改 定 内 容 概 略	発行日/改定日	文書責任者	承認者
0	新規発行	2005-03-28	PM(検査)	検査機関 技術委員会
1	誤記修正	2005-12-01	PM(検査)	検査機関 技術委員会
2	ILAC P15:06/2014 Application of ISO/IEC 17020:2012 for the Accreditation of Inspection Bodies 発行 に伴う全面改定	2015-09-01	PM(検査)	検査機関 技術委員会

公益財団法人**日本適合性認定協会**

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1 丁目 22-1

五反田 AN ビル 3F

Tel.03-3442-1217 Fax.03-5475-2780

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。